

目標：信頼される市立病院の運営

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救急医療（初期・二次）の強化

② 災害医療機能の維持

No. ページ

1 1 ~ 2

2 3 ~ 4

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

① 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

② 緩和ケアの推進

3 5 ~ 6

4 7 ~ 8

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

① チーム医療の推進

② 成人疾患医療の充実

5 9 ~ 10

6 11 ~ 12

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療連携の推進

② 医療依存度の高い患者に対する在宅医療の提供

③ 地域包括ケア病床の整備と運用

7 13 ~ 14

8 15 ~ 16

9 17 ~ 18

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

○ 井田病院再編整備事業の推進

10 19 ~ 20

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

① 医療従事者の確保

② 職員の専門能力の向上

③ 働きやすい職場づくり

11 21 ~ 22

12 23 ~ 24

13 25 ~ 26

取組項目(2) 医療安全の確保・向上

○ 医療安全・院内感染対策の推進

14 27 ~ 28

取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

○ 市民に信頼される医療の提供と分かりやすい情報の発信

15 29 ~ 30

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

16 31 ~ 32

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

17 33 ~ 34

取組項目(3) 経営管理体制の強化

18 35 ~ 36

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救急医療（初期・二次）の強化

〔計画記載ページ P.34〕

市内における人口増加や高齢化の進展に伴い救急需要が増大することから、より多くの一次（初期）救急患者、二次救急患者を受け入れられるよう、救急告示病院としての体制を強化します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①川崎病院との連携による平日日勤帯の救急受入体制強化
- ②職員の意識啓発に努め、救急搬送及びウォークイン患者の非応需率低下に向けた取組の推進
- ③救急医療における院内トリアージの強化
- ④事務職を含む全職員を対象とした一次救命処置技術習得への取組の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
救急自動車搬送 受入台数	目標値			3,075件	3,181件	3,288件	3,394件	3,500件以上
	実績値	2,969件	3,013件	2,685件	2,614件	2,367件	2,406件	
	評価			5	5	5	5	
救急患者数	目標値			8,800人	8,900人	9,000人	9,100人	9,200人以上
	実績値	8,158人	8,536人	7,633人	7,481人	7,041人	6,845人	
	評価			5	5	5	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・4月から救急総合診療センターを開設し、川崎病院との連携により平日日勤帯の体制を強化しました。
- ・開設当初、救急車応需数3394件を掲げ、救急需要が多い準夜の体制を強化する予定でしたが、準備に時間を要したため、4月と5月は応需数が低下しました。その後12月までの応需数は、2,614件を応需した平成29年度と同等の成果を上げましたが、新型コロナ対応のため応需数を大きく減らしました。年間応需数は、前年度を上回りましたが、目標には到達せず2,406件に留まりました。
- ・当直における問題点を当直業務検討委員会と救急医療運営委員会で検討し、患者、事務員、医師のコミュニケーションを改善することにより、徒歩受診患者や問い合わせ患者への対応を向上させました。
- ・救急医療における院内トリアージ強化に関しては、救急医療運営委員会にてWGを設置いたしました。
- ・一次救命処置技術の習得に向けて、11月に全職員を対象とした「コールワンマスター研修」を実施しました。引き続き、救急医療運営委員会にてWGを設置し対応していく予定です。
- ・令和2年2月以降、救急科は内科や感染症内科と共にERでの新型コロナ患者の対応について整備し、円滑な受入に寄与しました。

E
目標を大きく
下回った

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●救急受入体制の強化に向けた川崎病院との連携	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●救急医をサポートする救急救命士の安定確保	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	4名	4名	4名	4名	4名	4名	
●救急患者受入病床の効率的な運用	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
夜間休日救急外来非応需率	目標値			20%以下	20%以下	19%以下	18%以下	18%以下
	実績値	30.6%	27.4%	23.8%	26.5%	25.3%	27.8%	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

② 災害医療機能の維持

〔計画記載ページ P.34〕

神奈川県指定の災害協力病院として、災害発生時には災害拠点病院と連携し、円滑に傷病者等を受け入れられるよう必要な準備を行い、災害医療機能を維持します。また、災害発生による物資供給の途絶時に備え、必要な食料、飲料水、医薬品の備蓄に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①災害協力病院として災害医療対応能力の更なる向上と全職員の役割発揮を図るための災害医療訓練の実施
- ②災害用備蓄品の計画的な入替えの実施
- ③災害発生時の医療強化に向けたDMAT-L 隊員の育成

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
災害拠点病院と連携した災害訓練の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施(毎年)
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
	評価			3	3	3	3	
食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	目標値			3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分
	実績値	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	
	評価			3	3	3	3	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・9月に首都直下地震を想定した災害医療訓練を実施し、同日実施の大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)に参加しました。院内からは93名が参加し、政府訓練としては、市中部地区のDMAT活動拠点本部を井田病院に設置し、名古屋掖済会病院をはじめ5病院のDMAT隊が活動しました。 ・港北区医師会(横浜市)からの要請を受け、9月に同区で実施された地域防災拠点訓練・医療救護隊訓練に、患者受入施設として保健医療圏を越えて参加しました。 ・備蓄用飲料水及び食品は、消費期限に応じて適宜入換えを行い、常時3日間分を確保しています。 ・神奈川DMAT-L 隊員養成研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、職員を派遣することができませんでしたが、令和2年度は1隊を派遣する予定です。 	C ほぼ目標ど おり

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016－2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●災害拠点病院と連携した災害訓練の計画・実施、評価、改良	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	
●備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
政府主催総合防災訓練(搬送訓練)への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値			参加	参加	参加	参加	
院内災害医療対応訓練の実施	目標値			1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	1回	1回	1回	1回	1回	
部署別災害訓練の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

① 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

〔計画 記載ページ P.34〕

川崎南部保健医療圏における地域がん診療連携拠点病院として、安心して治療を受けられるよう、地域連携クリニカルパスを積極的に活用した地域完結型の医療を推進するなど、がん診療機能の強化を図ります。また「がんサロン」をはじめとするサポートプログラムにより、患者・家族の支援に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①対策型検診と任意型検診の受診促進に向けた活動と受入調整
- ②県内のがん拠点病院で構成する協議会、部会に出席・情報交換
- ③がんサロン、ピアサポート、患者力を考える会等の実施

<成果指標>

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
がん登録数	目標値			1,147件	1,185件	1,224件	1,262件	1,300件以上
	実績値		1,109件 (平成26年分)	1,204件 (平成27年分)	1,269件 (平成28年分)	1,296件 (平成29年分)	1,343件 (平成30年分)	(令和元年分)
	評価			3	2	2	2	
内視鏡検査件数	目標値			6,171件	6,553件	6,936件	7,318件	7,700件以上
	実績値	5,789件	7,682件	7,463件	6,976件	6,907件	6,522件	
	評価			1	2	3	5	
内視鏡治療件数	目標値			686件	694件	703件	711件	720件以上
	実績値	677件	838件	969件	779件	745件	758件	
	評価			1	1	2	2	
がん手術件数	目標値			511件	533件	555件	577件	600件以上
	実績値	489件	442件	455件	502件	554件	573件	
	評価			5	4	3	3	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・院内がん登録の体制強化に向けて、システムの導入や医療事務職の活用など検討を行いました。
- ・国の指針変更に伴う川崎市胃がん検診制度の見直しにより、内視鏡検診は平成30年4月から40歳以上を対象に2年に1度となりました。このため内視鏡検査件数は減少しています。また、令和2年4月からは50歳以上を対象に2年に1度となることから、今後も減少が見込まれるため、引き続き、市民公開講座や出前講座等による啓発活動にも積極的に取り組んでいく予定です。
- ・がん手術件数については、地域がん診療連携拠点病院の指定要件である年間400件以上を達成するとともにほぼ前年並みの件数を確保しました。
- ・患者やその家族をサポートするプログラムとして、医師や看護師、他の参加者と悩みや不安を自由に話すことができる「がんサロン（月2回）」や臨床心理士のピアボランティアがお話をお聴きする「ピアサポート（週1回）」、患者同士でよりよい医療へのかかり方などを話し合う「患者力を考える会（月1回）」、乳がん患者さんのための「ピンクリボンサークル（月1回）」等を毎月開催しました。

C
ほぼ目標ど
おり

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●化学療法センターの安定的な運営	目標値			2,260件	2,300件	2,400件	2,500件	2,600件
	実績値	1,712件	1,782件	2,260件	2,320件	2,580件	3,250件	
●高度な検査・治療機器の効果的な活用と計画的な更新	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		実施	実施	実施	実施	実施	
●がん先進治療機器の導入	目標値			導入	維持	維持	維持	維持
	実績値		計画	導入	維持	維持	維持	
●がん地域連携クリニカルパスの積極的な活用	目標値			80件	80件	80件	80件	80件
	実績値	68件	79件	69件	65件	69件	49件	
●患者・家族サポートプログラムの企画・実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
内視鏡治療件数 (がんに対するもの)	目標値			安定的提供	安定的提供	安定的提供	安定的提供	安定的提供
	実績値	—	—	235件	219件	243件	291件	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

② 緩和ケアの推進

〔計画記載ページ P.35〕

患者とその家族が可能な限り質の高い生活を送れるよう、がんと診断されたときから、外来・入院治療、在宅医療まで、切れ目の無い緩和ケアを提供します。また、地域医療従事者を対象とした研修会を開催するなど、緩和ケアの普及・啓発を担います。

＜取組内容＞

令和元年度の主な取組内容

- ①緩和ケア科の医師を確保し、緩和ケアの外来、入院、在宅、救急ニーズへの適切な対応
- ②緩和ケア科の初診を円滑に受けられるよう調整
- ③在宅緩和ケアの積極的実施・充実強化
- ④地域医療従事者を対象に緩和ケア研修会を開催し、緩和ケアの普及・啓発の実施

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

＜成果指標＞		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
緩和ケア患者の 受入人数	目標値			472人	485人	497人	510人	552人以上
	実績値	460人	414人	476人	514人	474人	538人	
	評価			3	2	3	2	
訪問診療件数	目標値			1,661件	1,671件	1,680件	1,690件	1,700件以上
	実績値	1,651件	1,552件	1,647件	1,483件	1,196件	1,072件	
	評価			3	5	5	5	

＜自己評価＞

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・緩和ケア科の医師の確保が厳しい中で、医療の質を落とすことなく継続し、外来・入院・在宅・救急ニーズに院内全体で取り組んでいます。
- ・緩和ケア科の初診の枠を増やし、緩和ケア相談を積極的に受け入れました。緩和ケア研修会はeラーニング受講が可能となり、ワークショップ中心の研修会を開催しました。今後も、「緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会」を隔月で開催し、近隣地域医療従事者や当院職員との意見交換や交流をさらに推進していく予定です。
- ・医療密度の高い患者には、在宅診療・訪問看護を行っています。特に近隣医療機関・訪問看護ステーションとの機能別の役割を重視して取り組んでいます。

C
ほぼ目標ど
おり

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016－2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医師の安定的な確保 【緩和ケア内科】	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	3人	3人	3人	4人	4人	4人	
●専門外来（緩和ケア外来）の実施	目標値			276人	288人	288人	288人	288人
	実績値	255人	266人	282人	303人	290人	323人	
●がん患者に対する在宅ケアの実施	目標値			135人	140人	145人	150人	160人
	実績値	117人	128人	133人	111人	109人	154人	
●地域の医療従事者を対象とした緩和ケア研修会の実施	目標値			7回	7回	7回	7回	7回
	実績値	7回	9回	8回	7回	7回	6回	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

① チーム医療の推進

〔計画記載ページ P.35〕

入院や外来通院中の患者の生活の質（QOL）の維持・向上が図られるよう、複数の医療専門職が連携して治療やケアにあたるチーム医療を推進します。また、臓器別センター制（消化器センター、呼吸器センター、腎・泌尿器センター）等、複数の診療科間のチーム医療体制の充実に取り組みます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①緩和ケアチームによる症状緩和、カウンセリングなどの総合的な支援の実施
- ②緩和ケアの研修及び教育の実施
- ③神奈川県がん診療連携協議会・緩和ケア部会、学会などへの参加及び協力
- ④緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チームによる定例介入の実施

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数	目標値			439人	442人	445人	448人	450人以上
	実績値	436人	462人	492人	545人	462人	536人	
	評価			1	1	3	1	
栄養サポートチーム回診延べ患者数	目標値			1,149人	1,187人	1,224人	1,262人	1,300人以上
	実績値	1,111人	998人	1,119人	1,188人	1,078人	1,060人	
	評価			3	3	5	5	
褥瘡院内発生件数	目標値			115件	115件	115件	115件	115件以内
	実績値	115件	99件	83件	96件	85件	86件	
	評価			1	1	1	1	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・がんサポートチームは1日平均20名前後のがん患者の症状緩和、全人的苦痛に対して支援を実施しました。緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会を実施するとともに、がん診療連携協議会緩和ケア部会では、がんサポートチームの活動内容のピアレビューを実施し今後の課題を共有しました。 ・栄養サポートチームでは、NST専従者交代に伴い、上半期は回診人数の調整を行いながら引継ぎ等を行っていましたが、下半期は積極的に介入を行いました。チーム内においては各病棟、各科持ち寄り定例的に症例の報告、検討を行い、資質向上に努めました。 ・今後とも緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チームが連携し、積極的に介入を行っていきます。 	B 目標を上 回って達成

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●臓器別センター制 (消化器センター、呼吸器センター、腎・泌尿器センター)の効果的な運営	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		実施	実施	実施	実施	
●緩和ケアチームによる症状の緩和・カウンセリング等、総合的な支援の実施	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	436人	462人	492人	545人	462人	536人
●栄養サポートチームによる適切な栄養管理の実施	目標値		1,149人	1,187人	1,224人	1,262人	1,300人
	実績値	1,111人	998人	1,119人	1,188人	1,078人	1,060人
●褥瘡対策チームによる褥瘡(床ずれ)予防	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

② 成人疾患医療の充実

〔計画記載ページ P.36〕

糖尿病、慢性腎不全、高血圧、高脂血症、脳及び心血管疾患など、広範囲にわたる成人疾患に対応する質の高い医療を提供します。また、地域の医療機関との連携を図りながら、患者の状況に応じ高度・専門的な医療に対応してまいります。

＜取組内容＞

令和元年度の主な取組内容

- ①成人疾患医療の着実な実施
②認定看護師を中心とした外来からの生活指導と療養支援の強化（禁煙外来・フットケア外来・在宅酸素外来など）

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

＜成果指標＞		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
糖尿病教育入院 実患者数	目標値			24人	25人	27人	28人	30人以上
	修正目標値					30人	30人	30人以上
	実績値	22人	30人	30人	36人	35人	35人	
	評価			1	1	1	1	
専門外来の 設置数	目標値			21	21	22	22	23
	実績値	20	20	19	25	25	24	
	評価			4	1	1	2	

＜自己評価＞

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・糖尿病教育入院では1週間及び2週間の2種類のコースを行っています。糖尿病に関する知識の習得や糖尿病食を経験していただくほか、眼科や歯科受診をはじめ全身の検査も行っています。
- ・医師の配置に伴い、婦人科において婦人科内視鏡外来及び女性健康外来を設置しました。
- ・専門外来では、患者の医療ニーズに合わせた支援を行うとともに、患者一人一人に寄り添った診察となるよう配慮しています。

A
目標を大きく上回って達成

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●糖尿病教育の充実	目標値			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	実績値		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
●専門外来の設置・充実	目標値			21	21	22	22	23
	実績値	20	20	19	25	25	24	
●リウマチ膠原病・痛風センターによるリウマチ性疾患の治療	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●透析センターの安定的な運営	目標値			5,600例	5,620例	5,640例	5,660例	5,680例
	実績値	5,524例	5,586例	5,764例	5,989例	5,423例	5,700例	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療連携の推進

〔計画記載ページ P.36〕

地域における医療機能の分化に伴い、中核病院として求められる高度・特殊な医療を確実に提供していくため、かかりつけ医への受診を啓発するとともに、地域医療機関との連携を推進し、「地域医療支援病院」の承認を目指します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①地域の医療機関との連携を強化するため、クリニック訪問や意見交換・交流を目的とした地域連携の会を開催
- ②地域の医療機関向けに外来診療表等を毎月送付及び、診療科の紹介冊子の作成
- ③紹介状作成等について院内広報紙での周知や医師へのオリエンテーションの実施
- ④地域の医療機関等を対象とした研修会の開催（地域連携相互交流学习会・認定看護師による出張講座・症例検討会等）

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域医療支援病院の承認	目標値			—	承認	継続	継続	29年度承認
	実績値	—	—	—	申請見送り	取組の継続	取組の継続	
	評価			3	5	5	5	
紹介率	評価			50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%以上
	実績値	55.0%	58.0%	60.8%	56.1%	56.9%	58.3%	
	評価			1	1	1	1	
逆紹介率	目標値			70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%以上
	実績値	58.6%	78.1%	77.8%	63.1%	55.6%	57.8%	
	評価			1	4	5	5	
検査機器の共同利用件数	目標値			717件	738件	758件	779件	800件以上
	実績値	696件	547件	446件	334件	277件	265件	
	評価			5	5	5	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・開業医訪問や地域連携の会等を通じて地域医療機関等との顔の見える関係性を構築したことにより、紹介率・逆紹介率はそれぞれ向上しましたが、逆紹介率は目標に届きませんでした。 ・当院に二次検診を依頼していた企業等から依頼が減少したことにより、検査機器の共同利用件数は減少しました。 ・今後も放射線診断科や放射線治療科と密に連携を図り、予約方法の改善や待ち日数短縮等に取り組んでいきます。 	D 目標を下回った

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●かかりつけ医受診の啓発	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●地域連携クリニカルパスの積極的な活用	目標値			80件	80件	80件	80件	80件
	実績値	68件	79件	69件	65件	69件	49件	
●地域医療従事者等との症例検討会の充実	目標値			22回	22回	22回	22回	22回
	実績値	20回	21回	21回	18回	24回	19回	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

② 医療依存度の高い患者に対する在宅医療の提供

〔計画 記載ページ P.37〕

難病やがんの末期、人工呼吸器や在宅酸素など医療依存度の高い患者でも在宅で療養できるよう、ケアマネジメントや訪問診療、訪問看護を行います。また、地域開業医の在宅ケアを支援するため、夜間・休日の病状悪化など緊急時の受入れ（連携登録医との24時間連携）を行うなど、地域包括ケアシステムの一翼を担います。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①在宅療養後方支援病院の届出検討
- ②がん末期、医療依存度の高い患者に対して、退院の時期を逸さないために、当院からの訪問診療導入のコンサルテーション機能の充実
- ③症状悪化時の緊急往診の受入れだけでなく、家族に対してのメンタルケアの充実
- ④病棟看護師による退院前後訪問の推進
- ⑤地域医療部・病棟・外来の連携強化による退院支援の充実

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医療依存度が高い患者に対する往診患者実数	目標値			184人	185人	187人	188人	190人以上
	実績値	182人	183人	181人	155人	142人	176人	
	評価			3	5	5	4	
24時間連携登録医からの受入患者数	目標値			161人	171人	181人	191人	200人以上
	実績値	151人	151人	155人	162人	142人	128人	
	評価			3	4	5	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養後方支援病院の届出を行い、令和元年8月に受理されました。今後は、支援病院としての広報を行い、在宅からの緊急入院患者の受入を更に進めていきます。 ・緊急往診の受入れをタイムリーに行い、翌日にはカンファレンスで情報共有を図るなど、患者や家族等の精神的な支援を適切に行いました。 ・外来・病棟・退院調整看護師等が連携し、退院前後訪問を効果的に行いながら、円滑な退院調整・支援に取り組みました。今後は、さらに栄養士や薬剤師等の多職種との連携を強化し、入院前から支援ができるよう取り組む必要があると考えています。 	E 目標を大きく下回った

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●在宅医療を担う 医師の安定確保	目標値				実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●夜間・休日の病状悪化 など緊急時の受入れ (連携登録医との24 時間連携)の充実	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●在宅医療における NP(ナース・プラクティ シヨナー)の活用	目標値			—	—	—	—	—
	実績値	0	0	0	1	1	2	
訪問診療件数	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	1,651件	1,552件	1,647件	1,483件	1,196件	1,072件	

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

③ 地域包括ケア病床の整備と運用

〔計画 記載ページ P.37〕

地域包括ケアを支えるため、一般病床の一部を転換し、急性期後の回復期患者のリハビリテーション、在宅移行に伴う療養指導や地域の医療・ケア担当者との連携を担う「地域包括ケア病床」を整備します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①地域包括ケア病床の充実
- ②院外からの積極的な患者受入体制の構築
- ③円滑な病床運営のための課題抽出及び対策の検討
- ④多職種による患者受入会議の定期的開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域包括 ケア病床 の整備	目標値			整備	継続	継続	継続	28年度整備
	実績値		—	整備	継続	継続	継続	
	評価			3	3	3	3	
地域包括 ケア病床の 病床利用率	目標値			65.0%以上	70.0%以上	85.0%以上	85.0%以上	85.0%以上
	実績値		(未整備)	60.7%	77.3%	83.6%	82.8%	
	評価			4	1	3	3	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日に多職種による地域包括ケア病棟受入会議を実施し、院内外からの受入患者の調整を実施しながら病床運用を行っています。令和元年度の病床稼働率は82.8%であり、目標値の85%を目指し今後も継続して病床運用を行っていきます。 ・令和元年度から地域包括ケア病棟で院内デイサービスを開始しました。院内デイサービスでは、他病棟の患者も参加し、季節の催し物をはじめ、ラジオ体操や折り紙・塗り絵等のアクティビティ、嚥下リハビリを行っています。 	C ほぼ目標ど おり

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●地域包括ケア病床の整備（一般病床からの転換）	目標値		整備	継続	継続	継続	継続
	実績値		整備	継続	継続	継続	
●理学療法士又は作業療法士等の確保	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	7名	7名	10名	11名	12名	13名

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

○ 井田病院再編整備事業の推進

〔計画 記載ページ P.38〕

がん等の高度・特殊な医療の提供、成人疾患医療の強化、二次救急医療の充実など、医療機能の強化を基本として改築整備を行い、平成27年4月に新棟を全面開院しました。引き続き3期工事を推進し、立体駐車場や保育所、バスロータリー等の整備を進めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

①斜面防護等整備工事（4期工事）の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
再編整備事業 (3期工事) の推進	目標値			推進	実施	-	-	29年度 工事完了
	実績値		調査・設計	推進	工事完了	-	-	
	評価			3	3	-	-	
斜面防護工事 の実施	目標値			推進	推進	実施	-	30年度 工事完了
	実績値		-	調査・設計	工事着手	実施	工事完了	
	評価			3	3	4	4	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> 斜面防護等整備工事は、平成30年4月に着手し、令和元年12月に工事を完了しました。 	D 目標を下 回った

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●立体駐車場、保育所、バスロータリー等(3期工事)の整備	目標値		推進	実施			
	実績値		調査・設計	推進	完成		
●斜面防護工事の実施	目標値		調査・設計	推進	実施	完成	
	実績値		調査・設計	工事着手	実施	完成	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

① 医療従事者の確保

〔計画 記載ページ P.39〕

質の高い医療・看護を継続的に提供していくために、優秀な医療人材の安定確保に努めます。また、新たに医療事務職を採用し、精度の高い診療報酬請求事務等の維持・向上に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①採用選考の適切な実施による優秀な初期臨床研修医、専攻医の確保
- ②大学医局等との連携による常勤医の確保
- ③看護師確保のための学校訪問やインターンシップ、看護師等医療技術職の学生実習の受入
- ④院外における就職説明会・学校訪問の積極的な参加
- ⑤医療事務職の活用やDPC制度運用講座の開催による診療報酬請求事務の強化及び専門能力の向上

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職場に対する総合的な職員満足度 〔職員満足度調査〕	目標値			37.4%	40.6%	43.7%	46.9%	50.0%以上
	実績値		34.3%	33.8%	35.2%	31.6%	32.1%	
	評価			4	5	5	5	
レセプト査定率	目標値			0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%
	実績値	0.13%	0.14%	0.16%	0.18%	0.42%	0.38%	
	評価			5	5	5	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・職場に対する総合的な職員満足度は、職種別では看護師の満足度が他の職種より低く、「人員は充足している」「業務量や忙しさに偏りが無い」等の項目において低い調査結果となっています。
- ・大学医局等との連携や採用選考の適切な実施により、職員の確保に努めました。
- ・医療事務職は平成30年度に引き続き3名が在籍しており、令和2年度はさらに1名増員の予定です。
- ・全職員を対象としたDPC分析・診療報酬勉強会を年2回開催し、職員の知識の向上に努めました。
- ・レセプト査定率は、昨年度に比べやや減少しましたが、0.38%で、成果指標は5となり目標の達成には至りませんでした。井田病院の患者層の大多数は高齢者であることから、複数の疾患を有し、複合した診療が必要となるため、査定率が上昇する傾向があると考えられます。今後も査定減に関する取組として、保険委員会で算定ルール等の周知を行うとともに、各診療科の状況に合わせた取組を進めてまいります。

E
目標を大きく下回った

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●柔軟な職員採用 選考の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●医療事務職の 配置	目標値			実施	継続	継続	継続	継続
	実績値	計画	計画	2名	2名	3名	3名	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

② 職員の専門能力の向上

〔計画 記載ページ P.39〕

人材育成計画に基づき、医療に関わる高度な知識と経営感覚を兼ね備えた職員の育成を進めます。また、臨床研修指定病院として、将来の医療を担う初期臨床研修医の指導・育成を行います。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①人材育成計画に基づき各種研修会、講習会を積極的に開催
- ②認定看護師の育成及び特定行為研修（在宅ケアプラン）への派遣
- ③在職医師へ臨床研修指導医講習会受講の奨励

<成果指標>

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職場が「人材育成や能力開発に積極的である」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	目標値			47.8%	49.9%	51.9%	54.0%	56.0%以上
	実績値		45.8%	48.0%	50.1%	48.9%	47.8%	
	評価			3	3	4	5	
認定看護師の人数 ※()内は川崎病院との合計	目標値			17(41)名	18(42)名	18(43)名	19(45)名	20(47)名
	実績値		17(40)名	15(43)名	18(46)名	16(47)名	16(47)名	
	評価			4	3	5	5	
研修医1人あたりの指導医数	目標値			4.7名	4.8名	4.8名	4.9名	4.9名
	実績値		4.7名	6.1名	4.7名	3.7名	4.0名	
	評価			1	3	5	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成計画に基づき認定看護師の派遣を毎年実施し、今年度は新たに1名が認定看護師の資格を取得しました。 ・特定行為研修修了者3名が在籍しており、令和元年度はさらに2名が研修を修了しました。令和2年度はさらに2名を養成する予定です。 ・指導医を確保するため、引き続き若手医師を中心に臨床研修指導者講習会の受講を推進していきます。 	E 目標を大きく下回った

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●人材育成計画の策定・更新	目標値			更新	更新	更新	更新	更新
	実績値	作成	更新	更新	更新	更新	更新	
●認定看護師の計画的な育成・支援	目標値			育成・支援	育成・支援	育成・支援	育成・支援	育成・支援
	実績値	育成・支援	育成・支援	育成・支援	育成・支援	育成・支援	育成・支援	
●認定医・専門医取得の維持奨励・支援	目標値			維持奨励・支援	維持奨励・支援	維持奨励・支援	維持奨励・支援	維持奨励・支援
	実績値	維持奨励・支援	維持奨励・支援	維持奨励・支援	維持奨励・支援	維持奨励・支援	維持奨励・支援	
●院内研修の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

③ 働きやすい職場づくり

〔計画 記載ページ P.40〕

医療従事者の業務負担軽減を図るとともに、診療や看護等に専念でき、十分な生活時間を確保できるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境を整備します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ① 医師事務作業補助者の増員によるタスクシフトを積極的に推進
- ② 臨時的任用職員の任用などによる退職や産休・育休等に伴う欠員の減少

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	目標値			41.4%	43.5%	45.7%	47.8%	50.0%以上
	実績値	—	39.2%	38.5%	41.6%	39.9%	38.6%	
	評価			4	3	5	5	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革推進委員会を開催し、医師及び看護職員の負担軽減や他職種とのタスクシェアリング等について計画を策定しました。 ・医師の事務作業量の軽減を図るため、医師事務作業補助者の予算を平成30年度から7名増員して26名分確保していますが、全国的な人手不足から採用が困難な状況が続いており現在の採用人数は17名となっています。 ・臨時的任用職員の採用については、ハローワークやホームページ、各種広告媒体を活用して確保に努めています。 	E 目標を大きく下回った

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
医師事務補助者の配置	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	12名	12名	15名	15名	16名	16名	
●有給休暇の取得促進	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
●子育て支援制度の利用促進	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
年次有給休暇平均取得日数	目標値			7.8日	7.9日	8.0日	8.1日	8.2日
	実績値	7.5日	7.7日	7.8日	8.0日	7.5日	11.1日	
夏季休暇平均取得日数	目標値			4.6日	4.7日	4.8日	4.9日	5.0日
	実績値	4.4日	4.5日	4.5日	4.6日	4.6日	4.7日	
看護職員離職率	目標値			8.5%	8.5%	8.5%	8.5%	8.5%
	実績値	8.5%	11.3%	9.1%	10.4%	13.3%	10.0%	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(2) 医療安全の確保・向上

○ 医療安全・院内感染対策の推進

〔計画 記載ページ P.40〕

医療事故の原因究明や再発防止に積極的に取り組むとともに、院内感染対策を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①医療事故防止対策・感染防止対策を推進し医療の質を確保
- ②施設基準「医療安全対策加算1」、「感染防止対策加算1」、「AST加算」の届出継続を維持
- ③医療安全対策・感染対策について、職員向け研修会の開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	目標値			届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)
	実績値		届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	
	評価			3	3	3	3	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・医療事故防止対策を推進するため、各委員会及び掲示物を通して医療安全情報を発信し対策の周知を行っています。医療安全対策に関する研修会については、今年度、胸腔ドレーンや心電図モニタ、AED除細動器等に関する研修会を開催しており、年間を通して全6回行いました。引き続き、インシデント事例の共有を行うなど、医療安全の推進に努めていきます。
- ・感染防止対策に関する取組を、委員会、感染対策部会、掲示物等を通して発信するとともに、感染対策・抗菌薬適正使用推進に向けた研修会を定期的を開催するなど、感染防止の推進に努めています。施設基準「感染防止対策加算1」「AST加算」についても継続して届出を行っています。

C
ほぼ目標ど
おり

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療安全の推進及び医療事故の防止	目標値		医療安全に関する研修2回以上	医療安全に関する研修2回以上	医療安全に関する研修2回以上	医療安全に関する研修2回以上	医療安全に関する研修2回以上
	実績値		3回実施	4回実施	7回実施	6回実施	
●医療安全対策に係る研修を受けた看護師等の配置	目標値		1名	1名	1名	1名	1名
	実績値		1名	1名	1名	1名	
●感染対策に係る十分な経験を有する医師・看護師等の配置	目標値		1名	1名	1名	1名	1名
	実績値	1名	1名	1名	1名	1名	
●感染制御チームによる活動の推進	目標値		週1回実施	週1回実施	週1回実施	週1回実施	週1回実施
	実績値	週1回実施	週1回実施	週1回実施	週1回実施	週1回実施	

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

○ 市民に信頼される医療の提供と分かりやすい情報の発信

〔計画 記載ページ P.40〕

患者本位の医療の提供に努めるとともに、患者に分かりやすく利用しやすい情報の積極的な発信など、開かれた病院づくりのもと、患者サービスの向上に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①市民公開講座や町内会など地域における医療に関する出前講座の開催
- ②病院モニター会議の開催
- ③外来休診情報の公開などホームページを活用した患者さんへの積極的な情報発信

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院患者満足度	目標値			90.1%	90.4%	90.7%	91.0%	91.3%以上
	実績値		89.8%	87.7%	89.6%	90.5%	93.1%	
	評価			3	3	3	3	
外来患者満足度	目標値			81.5%	81.7%	82.0%	82.3%	82.6%以上
	実績値		81.3%	82.8%	87.4%	82.4%	84.4%	
	評価			3	2	3	3	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な病気に関わるテーマを専門の医師等がわかりやすく解説する「市民公開講座」を5回開催しました。また、地域の町内会や老人福祉センター等へ出向き同様に解説する「出張講座」についても、年間で8回開催しました。 ・病院に対する御意見・御要望を広く聴取し、病院運営や患者サービス等に反映させることを目的として、第4期の病院モニターを5名委嘱しました。 ・6月から外来の休診・代診情報についてホームページへの公開を開始しました。 	C ほぼ目標ど おり

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●クリニカル・インシケーター(臨床指標)の公表	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	
●広報誌や病院ホームページの充実	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	
●病院モニター会議の開催	目標値		2回	3回	2回	2回	2回
	実績値	1回	未実施	1回	3回	未実施	1回
●市民公開講座の充実	目標値		6回	12回	12回	12回	12回
	実績値	4回	3回	7回	14回	13回	13回
クリニカルパスの積極的な適用	目標値		80件	80件	80件	80件	80件
	実績値	68件	79件	69件	65件	69件	49件

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

〔計画 記載ページ P.41〕

医療機能の充実・強化を進めるとともに、限られた人材や病床等の効率的・効果的な活用や、精度の高い診療報酬請求・未収対策の強化等により、診療収入の確保に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①目標管理制度の活用による定期的な診療収入増加に向けた取組状況の確認
- ②入院診療単価を引き上げるために、要手術患者の入院増加、平均在院日数の短縮
- ③弁護士を活用した滞納債権回収の強化
- ④午前退院・午後入院の促進など適切なベッドコントロールの実施及び地域包括・一般床・緩和・救急後方の各病棟における適正なベッド管理

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
医業収益の額	目標値			85.3億円	88.9億円	89.5億円	90.4億円	90.9億円以上
	実績値	67.5億円	74.9億円	75.9億円	79.3億円	80.7億円	85.9億円	
	評価			5	5	4	3	
入院患者1人1日 当たり診療収入 (入院診療単価)	目標値			46,319円	47,587円	47,926円	48,268円	48,613円以上
	実績値	45,374円	44,685円	44,533円	44,859円	44,908円	46,387円	
	評価			3	4	4	3	
外来患者1人1日 当たり診療収入 (外来診療単価)	目標値			14,234円	14,433円	14,491円	14,549円	14,607円以上
	実績値	13,400円	14,272円	15,303円	15,353円	16,170円	17,626円	
	評価			2	2	1	1	
病床利用率	目標値			85.1%	87.2%	87.2%	87.2%	87.2%以上
	実績値	64.0%	73.0%	74.3%	79.2%	78.8%	80.2%	
	評価			5	4	4	4	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・診療科毎に稼働額の目標値を設定し、収益の確保に取り組みました。令和元年度実績値では、前年度と比較し、外来では10%、入院では5%収益が増加しています。 ・入院収益では、DPC収入、出来高収入ともに前年度に比べて増加しています。DPC収入では、延べ患者数、単価ともに増加しており、出来高収入では、HCU入院患者の増加に伴う特定入院料や、手術単価の増加に伴う手術麻酔収入が増加しています。引き続き、手術単価を維持するとともに、効率的な病床運用に努めます。 ・外来収益では、延べ患者数は、昨年度に比べ減少していますが、診療単価の増加に伴い、収益は増加しています。内訳では、薬剤収入に限らず、手技収入、材料収入についても増加しています。 ・未収金対策は、川崎市債権対策実施要綱に基づき、未収発生から早期の段階で電話催告または文書催告を実施してきめ細かい対応を行っています。さらに弁護士を活用することにより効率的に滞納債権の回収に取り組んでいます。今後も医療費滞納者に対する債権回収強化に努めていきます。 	C ほぼ目標ど おり

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療機能の充実・強化による診療収益の確保	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	
●精度の高い診療報酬請求 【レセプト査定率】	目標値	(レセプト査定率)	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%
	実績値	0.13%	0.14%	0.16%	0.18%	0.42%	0.38%
●未収金催告・督促の強化	目標値		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

〔計画 記載ページ P.41〕

委託業務の仕様の精査・見直しによる委託料の縮減、診療材料、医療機器等の購入方法や、効率的な在庫管理などにより、経費の節減に努めます。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①各所属における医療機器保守業務委託の仕様見直し及び契約額の削減化
- ②川崎病院との材料購入に関する情報交換・共同購入による経費節減の実施
- ③無駄な在庫を持たないように効率的な在庫管理を図り、経費節減の実施

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職員給与費対 医業収益比率	目標値			62.1%	59.2%	58.8%	58.2%	57.9%以下
	実績値	69.2%	67.3%	65.2%	65.0%	61.7%	60.7%	
	評価			3	4	3	3	
委託費対 医業収益比率	目標値			15.2%	14.6%	14.5%	14.3%	14.2%以下
	実績値	16.4%	15.6%	16.2%	15.9%	14.4%	13.5%	
	評価			4	4	3	2	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和元年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・診療材料購入に関して、川崎病院との情報交換、ベンチマークシステムの活用等により、随時値引き交渉を行っています。単価契約を行うと、当初価格に1年間縛られ、他の病院より高くても交渉できなくなるため、価格交渉の余地がありそうな物品については、あえて単価契約を行わないこととし、個別の価格交渉を行い、更なる値引き交渉に取り組んでいます。また、より安価な同等品の使用など、診療材料の見直しを行っています。 ・前年度に引き続き、年2回（8月及び2月）、SPD（院内物流管理受託業者）と共同で、倉庫から払い出し後の使用状況の実地検査を実施し、使用期限のチェックや、各所属への注意喚起を行っています。また、払出しの定数の見直しは、随時実施していきます。 ・高額医療器械については、保守契約に加え、専用消耗品（試薬）についても合併入札を行い、競争による経費削減を図りました。 	C ほぼ目標ど おり

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●委託業務の仕様の精査・見直し	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	
●診療材料等の共同購入の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	
●効率的な在庫管理	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	
一般競争入札の推進【指名競争入札案件への適用】	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	
医療材料等の共同購入の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	
適正な在庫管理	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(3) 経営管理体制の強化

〔計画記載ページ P.42〕

病院の経営状況や課題等に係る情報の共有化を徹底し、病院職員の経営意識を醸成します。また、毎年度、各部門ごとに本計画の達成に向けた目標設定を行うとともに、本庁部門と各病院三役等が出席する経営会議を定期的に開催し、その進捗管理を行うなど、経営改革を一層推進します。

<取組内容>

令和元年度の主な取組内容

- ①全職員を対象とした病院の運営方針や経営に関する勉強会の開催
- ②診療科等に対する経営に関するヒアリングの実施
- ③井田病院経営戦略会議の定期開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	目標値			23.7%	27.9%	32.1%	36.3%	40.0%以上
	実績値	—	19.5%	19.4%	20.1%	18.9%	22.4%	
	評価			5	5	5	5	
経営会議開催数	目標値			10回	10回	10回	10回	10回以上
	実績値	11回	10回	10回	12回	12回	12回	
	評価			3	1	1	1	

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和元年度の達成度

- ・年度当初、全職員を対象に、病院長による「病院運営方針等説明会」を開催し、中期経営計画に基づく当該年度の病院としての重点取組項目（「がん診療の推進」「在宅療養支援の推進」「二次救急医療の体制強化」「地域医療連携の推進」「医療の質の向上」）について周知を行いました。
- ・診療科やメディカルスタッフ部門等全39部署を対象とした病院長等幹部職員による経営等に関するヒアリングを実施しました。各部署においては、当該年度の行動目標及び行動計画を定め、取組を推進しました。
- ・病院局、川崎病院、井田病院を結ぶテレビ会議システムが導入され、効率的な会議運営が図られました。

C
ほぼ目標ど
おり

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●経営会議による 本計画の進捗管 理の実施	目標値			計画策定前	実施	実施	実施	実施
	実績値	計画策定前	計画策定前	計画策定前	実施	実施	実施	
●病院幹部会議に おける病院経営 状況等の報告	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	
中期経営計画勉強 会の開催	目標値			実施	実施	実施	実施	
	実績値	—	—	1回	4回	2回	2回	
新任・局間異動者 研修会の開催	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	—	—	1回	1回	1回	1回	
診療科別目標管理 制度の導入	目標値			試行実施	導入	実施	実施	
	実績値			試行実施	導入	実施	実施	